

環境審議会（中間報告）における委員発言項目等

委員名	発言項目等	計画等における対応案	本文掲載箇所
宮原委員	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック製の容器包装だけでなく、プラスチック製品をリサイクルルートに乗せるための取組を掲載してはいかが。 排出者責任の観点を入れてほしい。 図表について注釈をつけるなど、どこの図表なのかわかりやすくして。 	<ul style="list-style-type: none"> 信州プラスチックスマート運動では、容リ法ルート以外のプラスチック製品についても適正な分別回収を呼び掛けており、引き続き県民に呼びかけます。 本文中「第3章 各主体の協働と役割」に排出者の責務を記載しました。今後、分かりやすい啓発に努めていきます。 本文中に図表の位置を明示しました。 	P47
手塚委員	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの役割（たたき台）の中に、エシカル消費という言葉の周知をお願いしたい。 同じく、未利用食品を必要な人にお渡しするという食品ロスの観点を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見を踏まえ、今後分かりやすい啓発に努めてまいります。 同上。 	
福江委員	<p>県民がリプレイスを実践するときに、エシカル消費と関連付けて表現を考えてほしい。</p>	<p>本文中「第4章第4節 代替素材への転換（リプレイス）」に長野県版エシカル消費を記載しました。</p>	P72
打越委員	<ul style="list-style-type: none"> 県民に対し、倫理観からだけではなく、ごみ出しを楽にする発想からも呼び掛けてはいかが。 大手食品メーカーと連携して、パッケージを軽量化するプロジェクトを進めるなど、自然豊かな長野県から行動を起こしてはいかが。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見を踏まえ、今後分かりやすい啓発に努めてまいります。 御意見を踏まえ、今後計画の実行段階で詳細について検討してまいります。 	
小林委員	<p>経済的なインセンティブを使った取組を充実させてはいかが。</p>	<p>現在、長野県産業廃棄物3R実践協定締結による入札上のインセンティブや、信州リサイクル認定製品の県公共事業での利用、リプレイスの研究開発・事業展開を行う者への制度融資、ごみの減量等に顕著な実績を上げている団体等への表彰などを行っています。</p> <p>引き続き、他部局とも連携して取り組みます。</p>	

委員名	発言項目等	計画等における対応案	本文掲載箇所
太田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ残しを減らそう協力店に登録するメリットがほしい。 ・登録店舗数を増やす活動もしてはいかが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録店をごみ減量ポータルサイト「信州ごみげんねっと」や広報等で積極的なPRを行ってまいります。 ・御意見を踏まえ、今後計画の実行段階で詳細について検討してまいります。 	
梅崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物排出量を現状維持とした場合、ごみを出さないでという抑制のメッセージがほしい。 ・総量なので、それぞれの事業者の目標は立てにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中「第3章 各主体の協働と役割」に事業者の責務として発生抑制を記載しました。御意見を踏まえ、今後分かりやすい啓発に努めてまいります。 ・事業者向け講習会やメルマガ等の機会を捉え、計画で目標とする発生抑制を呼び掛けます。 	P45